

【第1回】団地コミュニティ再生サミット開催！

●令和6年6月1日(土) 13:30~15:40 青葉台自治会館集会室にて

〔【参加団地】 辰巳台団地・若宮団地・国分寺台団地・有秋台団地・椎の木台団地・光風台団地・いちほら緑園都市自治会・青葉台団地・ちはら台団地*(*ちはら台団地はオブザーバー参加)〕

昨年11月市制施行60周年記念事業「地域住民主体のまちづくりシンポジウム」の際、青葉台町会協議会から呼びかけた本サミットが実現しました。近隣8団地の自治会リーダーの方々16名の参加があり、青葉台からは古寺会長、石井副会長、横倉理事が出席しました。

古寺会長から、冒頭の挨拶の中で「自分達が住んでいる街が最高と思えるまちづくりを行政とタッグを組んで取り組んでいくために、このサミットを通じて決めた方向性を市に堂々と提示させていただきたい。」と決意表明がありました。

続いて、4つのグループに分かれてワークショップに移ります。事前に、各自治会から回収したアンケート結果、困っている課題上位4つは次のようなものでした。

- ①高齢化による役員へのなりて不足
- ②高齢化に伴う会員数減退
- ③高齢者の外出機会確保が困難化(バス減便、買い物のための外出)
- ④町会加入のメリットが明確でない

この4つをそれぞれのグループで深掘しました。活発な議論が40分続き、各グループの発表です。

課題①②に共通した対策で、「やれる人にやってもらう」が挙げられました。やれない会員から100円/月の追加金を提供してもらい資金源にしているという自治会もありました。グループ発表の後、参考として青葉台町会協議会から町会・協議会改革について説明がありました。

なお、本サミットは全3回の開催を予定しており、次回は7月初旬に実施の予定です。

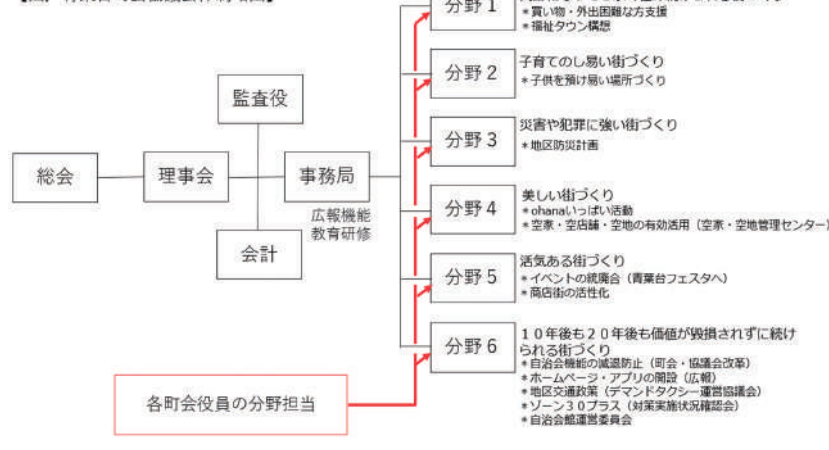


▲4グループに分かれてのワークショップ風景

町会・協議会改革による分野制による自治試行の開始

昨年度まで、協議会の組織として存在したまちづくり委員会をはじめとする常任委員会を廃止し、分野制に移行しました。協議会と町会とのパイプ役として町会役員が分野担当として、6分野の連絡会議に出席することとなりました。(図)このため、町会役員が協議会の体制の中に参加する人数が24名から48名に一挙に倍に増え連携性の強化された体制となりました。今年度は試行期間となりますが令和7年4月から一般社団法人の組織として本格運用を目指します。

【図】青葉台町会協議会体制略図





【分野4】美しい街づくり Ohanaいっぱい活動： 夏花への衣替え準備整う

年中行事である夏花の一斉苗植え付けが、6月23日(日)に実施されます。

4月20日(土)種蒔き会が行われ、町会の育苗者が浅野さん宅に集結。種蒔きベッドにペニチュア、ジニア、マリーゴールド、サルビアの種を撒きました。今年は10名の育苗者で約1500本程度が用意されました。(下記写真参照)

5月25日(土)浅野さん宅で挿し芽植え付け会が行われました。遅れていたポテツラカの挿し芽を急ぐ必要がありこれを実施しました。1町会あたり(黄48、赤24、オレンジ24、ローズ24)の120本の挿し芽をポットに植え付けました。

5月30日に、市の道路維持課からナデシコ、トレニア、ペンタスなど460本が支給され1~4丁目の街路樹花壇に6月初旬に植え付けを行いました。

メインイベントである6月23日の一斉苗植え付けは自給苗で植え付けします。今回の育苗は、芽が出たばかりの頃屋外に出して虫に双葉の部分が食べられたり、挿し芽の根が水分不足のため成長しない等の問題にも直面しました。リスク管理にも気を配る必要を痛感しました。今年度は、「みんなで種から苗づくり公園も、お宅の庭も花いっぱい」のスローガンを掲げて、ノアール店頭での個人のお宅の玄関先や庭の花写真掲示を行いOhanaいっぱい活動を広げていきます。



【分野6】地区交通政策 デマンドタクシー運営協議会発足

高齢化に伴う運転免許返納や歩行不自由な方が増加、バス路線の減便などで買い物や外出が困難になると予想される中で持続可能な地域の交通手段が望まれます。

これまで、協議会旧まちづくり委員会、小域福祉NW、青葉台さわやかNW、あおバス路線を支える会の関係者で構成された青葉台WGと市交通政策課でデマンドタクシーの導入検討が進められてきました。これを引継ぎ、遅くとも令和7年4月からの実証事業開始に繋げるため分野6で運営協議会を発足して取り組むことになりました。

第1回会合は、4月20日に開催され、石井分野長、各町会担当との顔合わせが行われ、青葉台WGの大崎さんから「一般タクシー事業との差別化のため運行が青葉台域内に限定されている。料金は600円/回・人(同乗者予約をすると300円割引)。収支損が生じた場合は市が負担。市と合意に至っていない運行の利便性改善については実証事業を行いながら改善の糸口を探る。」など検討経緯の説明を受けました。そして、新たに運営協議会の役職担当も決定しました。

第2回目は、5月25日に行われ、運営協議会規約・会計規程(案)の承認を行いました。次回以降、利用者登録の広報や町会非加入者に対して利用条件の差別化の議論などを行って準備を進めていきます。



第1回目の会議風景

9月/15・16日、「第3回 青葉台フェスタ」開催！ ～メインステージとグルメエリアが合体～盛り上がり最大級のフェスタへ！

恒例となった「青葉台フェスタ」は今年で第3回目を迎えます。昨年は青葉台エリアに約1万人ものお客様が集まり、市原市でも話題のイベントとして定着して来ました。今年は楽しさをさらに倍増！

メインステージとグルメエリアを青葉台中央通りに結集し、屋台やキッチンカーのグルメを堪能しながらイベントが楽しめちゃいます。詳細は問もなく決定。今年も、秋は～青フェスへGO！～

▶「広報あおば」に関するご意見・ご要望はメールにてお気軽にお寄せください: info@aoba39.com(事務局)



◀青葉台HP

